

せんなんくまじろう
泉南熊寺郎 着ぐるみ取扱説明書



目 次

着ぐるみの使用について……………	2ページ
着ぐるみに入ったら……………	2ページ
着ぐるみパーツ式……………	3ページ
着ぐるみ着用手順……………	3ページ
着ぐるみ脱衣手順……………	4ページ
使用后・アフターケア……………	4ページ
控え室・運搬……………	5ページ

●泉南市マスコットキャラクター「泉南熊寺郎」着ぐるみの取り扱いにあたって、要綱および本誌内容をよく読み、必ず守っていただきますよう、お願いいたします。

「着ぐるみ使用について」

- 着ぐるみは**高価な衣装**です。丁寧に取り扱いってください。
- 着用手順・着衣手順**を必ず守ってください。
- 着用者の対応身長は**163cm～180cm**です。無理な着用は破損の原因となるのでおやめください。
- 着ぐるみ近くでの**喫煙**は、絶対におやめください。
- 雨天時や足元の悪い場所での使用は**禁止**します。雨天時の運搬については、**収納箱が濡れないよう**ビニールなどをご用意ください。
- 着ぐるみには**アシスタントを1名配置し、常に横でサポート**してください。声をかけるときは「**くまじろう**」もしくは「**せんくま**」と呼びかけてください。
- 着ぐるみは**視野が狭く、周りがほとんど見えません**。記念撮影時など人が近くにいるときは、よく注意してサポートしてください。
- 長時間の着用は、頭部に熱が籠もり大変危険**です。必ず休憩を挟んでください。夏場は特に注意し、熱中症対策に万全を期すよう、お願いします。
- 夢が壊れるため、**人前（特に子どもの前）では絶対に着脱しない**でください。また、着替えている姿等の写真をインターネット上にアップすることはご遠慮願います。
- 突起物に押し当てないで下さい。
- 「頭」の目・鼻にあるのぞき部分は、金網を使用していますので、顔面を**下向きに置かない**で下さい。破損・変形してしまいます。
- 着ぐるみを、無理矢理狭い所に押し込めたり、上に物を乗せたりしないで下さい。**変形すると元には戻りません**。
- 「頭」を運ぶ時は、**耳を持たない**で下から抱えるように持って下さい。

「着ぐるみに入ったら」

- 走ったり、飛び跳ねたりなどの激しい動きはおやめください**。破損や転倒、また周囲を傷つける恐れがあります。また、手を挙げる、刀を振るなどの動きは、危険ですの

で周りに人がいないことを確認してから行ってください。特に小さな子どもと接するときは、「熊寺郎が子どもに怪我をさせる」ことのないよう充分ご注意ください。

- 声は出さないでください。
- 「アナゴの刀」は落下させると破損してしまうため、取り扱いには注意してください。また、取られないように注意してください。
- 着ぐるみを着れば、あなたは「泉南熊寺郎」です。陽気に楽しく振る舞ってください。

「着ぐるみパーツ 一式」

- 頭 ○笠 ○藤の花 ○さくら草 ○靴（足袋）○着物・袴・ウレタンチョッキ
- ベスト（保冷剤挿入可能） ○アナゴの刀（穴子丸）・スポーツチャンバラ刀・飾り刀 ○内手袋
- 手（左右1セット） ○頭・笠・衣装上下と手用の黒袋3個
- 収納箱1個 ○キャスター付き板

「着ぐるみ着用手順」

一介添人 2名一

着る前の準備

- ① 「頭」に「笠」を取り付ける。（前後注意し、必ず片方ずつ耳を入れる。耳は持たないように注意）※「笠」を被らない場合は不要。
- ② 「藤の花」を耳に取り付ける、「さくら草」を口の穴に差し込んで裏からネジで固定する。
- ③ 着用者は保冷剤を入れた「ベスト」を着る（必要でなければ着なくてもよい。保冷剤は各自で用意する）
- ④ 着用者は長ズボンを履いてください。

着用手順

- ① 「内手袋」・靴下（各自で用意）を装着、首にタオル（各自で用意）を巻く。「靴（足袋）」を履く。
- ② 「手（左右1セット）」を「着物」の中に入れる。左右はゴムで繋がっています。
- ③ 「着物、袴、ウレタンチョッキ」が一体化したものを着用者は下からかぶる。（介添人が補助すること）

- ④ 「袴」のすそが地に付いていないか確認すること、「手」はまだはめない。
- ⑤ 介添人が「頭」を被せる。
- ⑥ 着用者は「頭」の下から手を入れて、あごに付けるマジックテープで頭を固定する。
- ⑦ 「手」をはめる、介添人は「着物」の中に「手」が収まるように調整する。
- ⑧ 介添人は腰に「2本の刀（スポーツチャンバラ刀・飾り刀）」を差す。
- ⑨ 介添人は左耳に「藤の花」を付ける。（マジックテープで付く）
- ⑩ 介添人が「アナゴの刀」を手を持たせる。（落下防止のため、**持ち手部分の輪に手を通して握る。**）なお、不要ならば持たなくてもよい。
- ⑪ 完成

★汗や臭い、汚れなど、次に入る人が不快に感じるものが付着しないよう、注意を払ってください。みんなが快適に使用できるよう、お互いに心掛けましょう。

「着ぐるみ脱衣手順」

「アナゴの刀」を介添人に渡す。

- ① 「手」を脱ぐ。
- ② 「頭」の下から手を入れて、あごで固定したマジックテープをはずす。
- ③ 介添人が「頭」をはずす。
- ④ 腰に差した「2本の刀（スポーツチャンバラ刀・飾り刀）」をはずす。
- ⑤ 「着物、袴、ウレタンチョッキ」が一体化したものを脱ぐ。（介添人は補助する）
- ⑥ 「靴（足袋）」を脱ぐ
- ⑦ 「頭」から「藤の花」・「笠」・「さくら草」をとる。

「使用后・アフターケア」

- ① 使用後は、「頭」・「ウレタンチョッキ」の内側に除菌・消臭スプレー（霧吹き型洗剤）をかけてから、タオル等でよく拭き取ってください。その後、陰干しをして、よく乾かしてから収納・保管して下さい。必ずよく拭き取り、**絶対に汗や洗剤で濡れたまま収納しない**でください。また、外部からのぞかれることのないよう、留意してください。
- ② **汚れ・破損が生じた場合は速やかに泉南市産業観光課まで報告**してください。
- ③ 「収納箱」に収める際は、最初に「頭」から入れて安定させてください。その際に**耳を持たない**ように注意してください。
- ④ 「笠」は「収納箱」には**入れられません**。無理に入れると破損しますので絶対にい

れないでください。

- ⑤ パーツ部品が多いので、紛失を避けるために使用后・収納前は必ず点検して下さい。
- ⑥ 返却の際は、担当が指示する場所に運び入れてください。その後、再度点検を一緒に行っていただきます。

「控え室・運搬」

- 控え室は、着替えることのできる**十分なスペース**があり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意してください。
- 外部からのぞかれることがないように留意してください。
- **収納箱（95cm×95cm×105cm：台車含む）** および**笠（直径約130cm・高さ約45cm）**を積載できる**車両**および2人以上の運搬人員を用意してください。収納箱から着ぐるみを出して移動させることは**原則禁止**します。
- 車両から控え室までは、台車に乗せて運搬してください。1人で持ったり、引きずったりは決してしないでください。

拙者はいつも大忙し！

皆、拙者が来るのを楽しみに待っていておる。

事故なく、拙者がスケジュールどおり活躍できるよ

う、ルールを守って大切に使ってほしいでござる。

よろしくお頼み申します。

